



# かけがえのない命を守る 安全・安心は「意識」の先に――

市内各地では、さまざまな交通安全の活動が展開されています。それでも起こる可能性があるのが交通事故。防止するポイントについて市交通安全指導隊の山形智章隊長に話を聞きました。

## 交通安全のポイント

- 【歩くとき】**
  - ・「歩きスマホ」をしない
  - ・横断歩道が近くにある場所では横断歩道を利用する
  - ～サイン・サンクス運動～
  - 信号機のない横断歩道では、手を上げてサイン(合図)して、安全を確認してから渡り、車にサンクス(感謝)を伝えましょう
- 【車を運転するとき】**
  - ・スマホ操作などの「ながら運転」や「よそ見運転」は厳禁
  - ・横断歩道は歩行者が優先。運転中に横断歩道に近づいたら速度に注意して、横断歩行者がいれば一時停止する
  - ・飲酒運転やあおり運転は犯罪です
- 【自転車に乗るとき】**
  - ・大人も子どももヘルメットを着用する
  - ・4月1日から、スマホなどを操作する「ながら運転」や「信号無視」などを対象に、自転車の交通違反にも反則金制度が適用

**全市民の意識向上が「鍵」**

高齢者の交通事故防止は重要ですが、交通事故ゼロを目指すための「鍵」になるのは、全市民一人一人が日頃から交通安全に対する意識を持ち続けるということです。

市交通安全指導隊は、令和7年4月から各地区区隊より選出されたメンバーで交通安全教育に取り組みます。将来を見据え、幼少期から交通安全に対する意識を持つてもらえるように、幼児や児童を対象にした交通安全教室を開催しています。

登米市には、運転するのが難しいと感じても、車がなければ生活を維持していくことが困難だという人が多くいるのも事実です。そのような状況の中で、交通事故を完全になくすことは簡単ではありませんが、それでも私たちは諦めず、これからも私たちが諦めず、これからも活動を継続していきます。

コミュニティ組織などの地域団体でも交通安全の取り組みが広がってきているので、交通安全の意識が徐々に高まってきたと感じています。自分や家族、そして誰かにとつてのかけがえのない命を守るためにも、いつも交通安全を心の中に持ち続けてください。その「意識」が、安心して住み続けられるまちへの鍵になるはずですよ。

## いつも心に交通安全を



登米児童館で開催した交通安全教室。子どもたちは信号機の見方や道路の渡り方を学んだ

## 経験が自信となり過信に

交通事故を防止するためには、車の運転技術や交通ルールなどの知識はもちろんですが、「常に危険を予知する」ということがとても大切であり、不可欠です。

危険予知能力や運転技術は経験を重ねることで向上し、やがて自信になります。そこで注意しなければならぬのが、自信が過信になっていないかということです。運転に慣れていくからと、スマートフォン操作などの「ながら運転」や、よそ見をしたりしていないでしようか。交通事故は皆さんの予測の範囲を超えて起こります。それでも、事前に予測しておくことで防ぐことができる事故は少なく



登米市交通安全指導隊 隊長  
山形 智章 さん

ありません。交通事故が起こる可能性は常にあるのです。

## どんなときでも油断大敵

私たち指導隊は、街頭指導や街頭広報活動を通じて、交通事故防止を呼びかけていますが、全ての交通事故を防ぐことはできません。また、これからの季節は、初めて学校に通う小学1年生や新たな場所へ自転車で通学する中高生のほか、車の運転に慣れていない人が増えるので、思いがけない動きに注意が必要です。

徒歩や自転車移動するときも、転倒などにより大げな命を落とすこともあるので、どんなときでも油断しないてください。

## 春の交通安全市民総ぐるみ運動を実施

4月6日(月)から15日(水)までの期間で実施され、4月10日は「交通事故ゼロを目指す日」です。新学期や新生活が始まり、交通量や歩行者の動きが変化するこの時期は、交通事故が発生しやすくなります。「みんなで登米(とめ)っ

ぺ交通事故!!」を合言葉に、交通事故を防ぎましょう。

### 【問い合わせ】

佐沼警察署 ☎0220(22)2121  
登米警察署 ☎0220(52)2121  
市民生活部市民生活課(市民総務係) ☎0220(58)2118



市公式HP「令和8年春の交通安全だより」

## 地域ぐるみで目指す交通事故ゼロ

中津山コミュニティ運営協議会は、佐沼地区交通安全協会中津山支部と共催で、市内在住の高齢者を対象に交通安全教室を開催しています。教室では、機材を使用して俊敏性や反射神経をゲーム感覚で楽しく測定しています。測定結果と自分の感覚との違いに

驚く人が多く、「能力の低下を自覚できる」と好評で、交通安全につながっていると感じています。今後も、地域ぐるみで交通事故を防止していきたいと考えています。



反射能力を測定する参加者



中津山コミュニティ運営協議会  
佐々木 明日歌さん